

第27回電波功績賞表彰式が開催されました

2016年6月27日、第6回定時総会に引き続き、第27回電波功績賞表彰式が開催されました。まず、輿水総務大臣政務官からご祝辞を頂戴し、総務大臣表彰の受賞者の方々に表彰状が授与されました。ついで、当会の長榮会長から一般社団法人電波産業会会長表彰の受賞者の方々に表彰状が贈呈されました。

表彰状受領後、受賞者を代表して前原 昭宏様（株式会社 NTT ドコモ無線アクセス開発部部长）よりご挨拶がありました。



電波功績賞表彰式終了後の記念撮影

後列左側から

清水様、加藤様、江口様、山口様、藤井様、青木様、安川様、牧野様、藤枝様、渡川様、八鍬様

前列左側から

富永基盤局長、前原様、要海様、堤様、羽鳥委員長、輿水大臣政務官、長榮会長、野崎様、保坂様、Lee 様、長坂様、渡辺電波部長

1 総務大臣表彰

(1) 「効果的な LTE-Advanced の展開を実現する高度化基地局（高度化 C-RAN 装置）の実用化」

株式会社 NTT ドコモ 高度化 C-RAN 開発グループ

代表 前原 昭宏 殿（株式会社 NTT ドコモ 無線アクセス開発部 部長）

移動通信分野において、LTE-Advanced の展開に際し、キャリアアグリゲーション技術を適用しマクロセルと複数の異なる周波数のスモールセルを効果的に連携させる無線基地局装置として高度化 C-RAN 装置を開発し、下り最大 300Mbps 以上の伝送速度の商用化を実現するとともに、標準化にも寄与し、電波の有効利用に大きく貢献した。

(2) 「世界初の 4x4MIMO WiMAX R2.1AE 全国サービス展開」

UQ コミュニケーションズ株式会社 4x4MIMO 開発チーム

代表 要海 敏和 殿（UQ コミュニケーションズ株式会社
執行役員 技術部門長）

サムスン電子ジャパン株式会社

代表 堤 浩幸 殿（サムスン電子ジャパン株式会社
代表取締役 最高経営責任者）

エリクソン・ジャパン株式会社

代表 野崎 哲 殿（エリクソン・ジャパン株式会社 代表取締役社長）

NEC プラットフォームズ株式会社

代表 保坂 岳深 殿（NEC プラットフォームズ株式会社
代表取締役 執行役員社長）

GCT Semiconductor, Inc.

代表 Kyeongho Lee 殿（GCT Semiconductor, Inc. Chairman of the Board）

広帯域移動無線アクセス分野において、WiMAX Release 2.1AE（LTE-TDD）の 4x4MIMO 化を実現するため、端末チップ、無線基地局装置、アンテナ等を開発し、2x2MIMO に比べ最大で 2 倍の周波数利用効率向上を実現し下り伝送レート的高速化を図り、これを全国にサービス展開し、電波の有効利用に大きく貢献した。

(3) 「12GHz 帯衛星放送の右旋左旋円偏波共用受信システムの実用化」

日本放送協会 右左旋衛星放送共用受信システム開発グループ

代表 長坂 正史 殿（日本放送協会 放送技術研究所 伝送システム研究部）

放送分野において、右旋円偏波と左旋円偏波を利用する BS 放送及び CS 放送の受信設備として、両偏波を帯域幅 1GHz にわたって 25dB 以上の交差偏波識別度で同時に受信可能とする右旋左旋共用受信アンテナ、及び、一本の同軸線路または光ファイバを用いて宅内配信が可能な一軸宅内配信システムを開発し、国内の標準規格策定にも寄与するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。

2 一般社団法人電波産業会会長表彰

(1) 「大規模災害時に ICT 環境の即時提供を可能とする移動式 ICT ユニットの開発」

日本電信電話株式会社

代表 清水 芳孝 殿 (日本電信電話株式会社 未来ねっと研究所 主任研究員)

国立大学法人東北大学

代表 加藤 寧 殿 (国立大学法人東北大学 電気通信研究機構 機構長 (教授))

富士通株式会社

代表 江口 孝二 殿 (富士通株式会社 ネットワークソリューション事業本部
アシスタントマネージャー)

NTT コミュニケーションズ株式会社

代表 山口 真一 殿 (NTT コミュニケーションズ株式会社
第三営業本部 課長)

無線通信分野において、災害対策用として被災直後の地域に Wi-Fi ネットワークを短時間で構築して、通話や被災地支援向け情報サービスを簡易に提供するための無線アクセスネットワークング技術などの要素技術を開発し、移動式 ICT ユニットとして実用化すると共に、国内外での実証実験の推進や発災時の実利用など、電波の有効利用に大きく貢献した。

(2) 「災害時における係留気球を用いた LTE/LTE-Advanced/W-CDMA 対応臨時無線中継システムの開発・実用化」

ソフトバンク株式会社

代表 藤井 輝也 殿 (ソフトバンク株式会社 研究開発本部 フェロー
兼特別研究室長)

移動通信分野において、陸上係留、車載係留、船上係留の係留気球に LTE/LTE-Advanced/W-CDMA 対応無線中継装置を搭載した災害対応臨時無線中継システムを開発、実用化するとともに、関連規定の改正にも寄与し、また、熊本地震において実使用し被災地の通信を確保するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。

(3) 「1.2GHz/2.3GHz 帯 受信アンテナの開発」

株式会社フジテレビジョン 周波数移行グループ

代表 青木 良太 殿 (株式会社フジテレビジョン 総合技術局
放送技術センター 回線管制部 主任)

放送分野において、周波数再編により放送素材伝送用途に使用することとなった新周波数帯 (1.2GHz/2.3GHz 帯) 用の受信アンテナとして、従来の 700MHz 帯の受信アンテナと同等の高利得、広半値角を有し、かつ、小型、軽量のものを開発し、マラソン等の移動中継において有効性を確認するなど、円滑な周波数移行と電波の有効利用に大きく貢献した。

(4) 「150MHz 帯 猟犬用 GPS マーカーの開発」

古野電気株式会社 システム機器事業部 「Dog Navi」開発チーム
代表 安川 昌孝 殿（古野電気株式会社 システム機器事業部
ITS ビジネスユニット開発部 ITS 開発課 主任技師）

無線通信分野において、高性能アンテナと高感度受信技術の開発により、150MHz 帯を利用した猟犬の GPS 位置情報と吠え声の音声情報を一端末でともに通信できる電波法適合の猟犬用 GPS マーカーを国内で初めて開発、実用化し、電波の有効利用に大きく貢献した。

(5) 「デジタル連絡無線における音声改善技術の開発」

日本テレビ放送網株式会社 連絡無線音声改善技術開発グループ
代表 牧野 鉄雄 殿（日本テレビ放送網株式会社 総務局
麹町再開発事務局長）
沖電気工業株式会社 連絡無線音声改善技術開発グループ
代表 藤枝 大 殿（沖電気工業株式会社 情報・技術本部 研究開発センター
コミュニケーション技術研究開発部 メディア処理技術チーム）
株式会社 JVC ケンウッド 連絡無線音声改善技術開発グループ
代表 渡川 洋人 殿（株式会社 JVC ケンウッド 無線システム事業部
国内無線システム事業統括部 国内システム開発部
エンジニアリングスペシャリスト）

無線通信分野において、音声圧縮にボコーダを用いた 4FSK 変調方式デジタル連絡無線に対し、通話の明瞭度を向上する送信側前段処理技術と、音声周波数帯域を従来の倍以上に拡張して耐周辺雑音特性を高める受信側後段処理技術を開発、日本語に最適化することにより連絡無線の音声品質を大幅に改善して連絡無線のデジタルナロー方式への移行に寄与するなど、電波の有効利用に大きく貢献した。

(6) 「70/80GHz 帯 周波数利用効率に優れた高速無線伝送システムの開発・実用化
～ iPASOLINK EX の製品化」

日本電気株式会社
代表 八鍬 直樹 殿（日本電気株式会社 モバイルワイヤレスソリューション
事業部 マネージャー）

無線伝送分野において、70～80GHz のミリ波帯で 256QAM の多値変復調技術ならびにミリ波コンバータ技術を開発し、帯域幅 500MHz で世界トップクラスの最大 3Gbps の高速無線伝送を実現したことにより、従来システムと比べて周波数利用効率が約 10 倍の高密度伝送を可能にするとともに、さらに無瞬断適応変調技術（AMR）を用いることで伝搬環境の変化に対して安定した無線伝送システムを実用化し、電波の有効利用に大きく貢献した。



表彰式における
長栄会長の挨拶



表彰式における
奥水総務大臣政務官のご祝辞



表彰式における
羽鳥選考委員長のご挨拶



受賞者を代表して
前原 昭宏様のご挨拶